

副産物情勢

4月10日 更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項 目		内 容	備 考																								
内 臓	1.国産牛	○ 2月の成牛と畜頭数は、82.3千頭(前年比98.1%)と前年を下回った。 内訳を見ると、和牛:39.9千頭(前年比102.4%)、交雑牛:19.9千頭(同100.5%)、乳牛去勢:9.0千頭(同86.5%)となった。 ○ 3月の成牛と畜頭数は、速報値(3月31日まで集計)で86.3千頭(前年比96.3%)と前年を下回る見込みとなった。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(3月27日公表)によると、3月の出荷頭数は、交雑種は前年並み、和牛および乳用種の減少が見込まれることから、前年同月を下回ると予測する。 4月は、和牛および交雑種は増加するものの、乳用種の減少が見込まれることから前年並みと予測する。(3月 87.4千頭(前年比97.0%)、4月 96.8千頭(同99.7%)) 3か月平均(2月～4月)では、出荷頭数87.7千頭(前年比96.9%)、生産量27.9千ﾄﾝ(同96.6%)と前年を下回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 : 赤物はタン・ハラミ・ホホ等の通年商材は堅調、レバーは停滞状況から幾分か回復してきた。 白物は牛小腸の動きが継続して停滞、その他も一部商品を除き、全体的に荷動きが悪い状況となっている。	1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr><tr><td>令和6年12月2日</td><td>48</td><td>9</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9	令和6年12月2日	48	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
	令和3年4月 26日	25	5																								
令和3年10月 18日	35	7																									
令和4年2月7日	25	5																									
令和4年4月4日	35	7																									
令和4年8月8日	45	9																									
令和6年12月2日	48	9																									
2.国産豚	○ 2月の全国豚と畜頭数は、1,290千頭と前年下回った。(前年比93.8%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道99.9%、東北92.3%、関東92.4%、北陸甲信越92.9%、東海95.2%、近畿91.7%、中四国96.2%、九州・沖縄93.9% ○ 3月の全国と畜頭数は、1,343千頭(速報値3月31日まで集計、前年比98.0%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年と同様で、1日当たりの平均と畜頭数は67,140頭(前年実績:68,533頭/日、前年差▲1,393頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;3月21日付け)によると、4月;1,403千頭(前年比100%)、5月;1,342千頭(同99%)、6月;1,302千頭(同109%)、7月:1,306千頭(同100%)、8月:1,293千頭(同106%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約102%と前年を上回る見込み。 ○ 需 給 動 向 : 赤物は、冷蔵品の荷動きは概ね堅調であるものの、凍結品豚ハツ、豚レバーの荷動きは引き続き停滞気味である。 白物は、小腸ボイル・大腸ボイルが例年に比べ荷動きは鈍いものの、今後については好転しそうな気配もあり注視する必要がある。	※乳牛45円/kg ※豚正貫物 2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr><tr><td>令和6年12月2日</td><td>48</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5	令和6年12月2日	48	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
令和3年4月19日	25	3																									
令和3年10月 15日	35	4																									
令和4年2月1日	25	4																									
令和4年3月28日	35	4																									
令和4年8月1日	45	5																									
令和6年12月2日	48	5																									
3.輸入牛	○ 2月の輸入通関実績は、全体で29.4千ﾄﾝと前年を下回った(前年比94.7%、前月比90.2%)。 内訳ではチルド:11.1千トン(前年比88.4%、前月比82.8%)、フローズン:18.3千ﾄﾝ(前年比99.0%、前月比95.3%)となった。 輸入相手国別では、チルドはメキシコが増加し、フローズンは、豪州が増加した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、円安や現地価格の高止まりの影響などにより、チルドおよびフローズンは、主要国を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれることから、3月、4月ともに前年同月を下回ると予測する。3か月平均でも、チルド、フローズンともに下回ると見込んでいる。 令和7年3月 合計:31.2千ﾄﾝ(前年比81.3%)、チルド:13.8千ﾄﾝ(同76.0%)、フローズン:17.4千ﾄﾝ(同86.2%) 令和7年4月 合計:57.3千ﾄﾝ(前年比90.7%)、チルド:15.7千ﾄﾝ(同86.4%)、フローズン:41.6千ﾄﾝ(同92.4%) ○ 輸入牛内臓実績(令和7年2月):牛腸(冷凍) ;1,137.2ﾄﾝ(前年比105.1%・前月比90.4%) 国別実績;米国883.2ﾄﾝ、メキシコ122.4ﾄﾝ、豪州28.5ﾄﾝ、カナダ60.7ﾄﾝ、他牛レバー(冷凍):98.3ﾄﾝ(前年比111.1%・前月比126.3%) 国別実績;米国57.9ﾄﾝ、豪州31.8ﾄﾝ、他	3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月16日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	令和5年10月16日	10	2	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																									
令和元年7月22日	700	10																									
令和2年3月16日	500	10																									
令和2年6月15日	100	10																									
令和2年7月20日	100	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年5月24日	10	10																									
令和5年10月16日	10	2																									
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 2 月) : 44,368枚(前年比129.9%、前月比112.6%) 国別実績;タイ38,438枚(前年比135.9%)、韓国5,380枚(同158.2%) 輸出平均価格(令和7年2月):2,769円/枚(前年差+340円、前月差+20円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 7 年 2 月) : 牛大判皮13,297枚(前年比96.1%、前月比40.8%)、ウェットブルー15,468枚※(同109.8%、同136.0%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和7年2月):牛大判皮6,691円/枚(前年差△2,058円、前月差△1,215円)、ウェットブルー8,764円/枚(同△2,156円、同△818円) ○ 海 外 情 勢 : 輸出枚数について、1月は前年を下回ったが2月は上回った。情勢に特段の変化なく、滞留するほどではない状況。 ○ 国 内 情 勢 : ホルス去勢以外の引き合いは弱い。低価格での流通が続いている。	4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>令和5年10月23日</td><td>10</td><td>2</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10	令和5年10月23日	10	2
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																								
令和元年8月15日	1,000	10																									
令和2年3月16日	800	10																									
令和2年6月22日	300	10																									
令和2年7月27日	300	2																									
令和2年9月28日	10	2																									
令和3年6月1日	10	10																									
令和5年10月23日	10	2																									
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 7 年 2 月) : 967,696枚(前年比91.6%、前月比101.2%) 国別実績;タイ756,676枚(前年比92.7%)、カンボジア101,800枚(同71.7%)、ベトナム87,900枚(同147.0%)、韓国21,320枚(同55.4%) 輸出平均価格(令和7年2月):363円/枚(前年差+25円、前月差+2円) ○ 需 給 動 向 : 1月に底値は脱したところから保合いとなった。依然海外タンナーの在庫過多の状況は解消されていないため、活発な取引は難しい。 上昇する要因は乏しく、価格は低位で推移する見込み。	5.食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年4月1日</td><td>165</td><td>175</td></tr><tr><td>令和5年7月1日</td><td>155</td><td>165</td></tr><tr><td>令和5年10月1日</td><td>145</td><td>155</td></tr><tr><td>令和6年7月1日</td><td>145</td><td>145</td></tr><tr><td>令和7年2月1日</td><td>155</td><td>155</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175	令和5年4月1日	165	175	令和5年7月1日	155	165	令和5年10月1日	145	155	令和6年7月1日	145	145	令和7年2月1日	155	155	
価格改定年月日	牛脂	豚脂																									
令和4年7月1日	195	190																									
令和5年1月1日	175	175																									
令和5年4月1日	165	175																									
令和5年7月1日	155	165																									
令和5年10月1日	145	155																									
令和6年7月1日	145	145																									
令和7年2月1日	155	155																									
レンダリング	1.油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(4月渡し):牛脂155円/kg(前年差+10円、前月差±0円)、豚脂155円/kg(同±0円、同±0円) 牛脂は、石鹸向けが好調、カレールー向けも底堅い動きにあり、タイト気味となっている。 豚脂は、ラーメン店向けの出荷が引き続き堅調である。と畜頭数も少なく需給は引き締まり傾向が続いている。 ○ マレーシア産パーム油相場(3月):199円/kg(前年差+24円、前月差△22円) 2月生産量は118万トン(前月比95.8%)、輸出量は100万トン(同83.7%)、月末在庫は151万トン(同95.7%)となった。 4月以降は増産期に入ることあつて、需給は徐々に緩和していくことが見込まれる。 ○ 関東飼料用油脂(3月):114円/kg(前年差△10円、前月差±0円) ○ 工業用油脂(3月):95円/kg(前年差±0円、前月差±0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(3月):123円～126円/kg程度(前年差±0円、前月差±0円)																									